

小久保 照枝 議員 公明党



問 乳がんの早期発見と推進を

答 41歳女性に無料クーポン送付

問 がん検診推進事業の取り組みは。

答 (健康推進課長) 胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん・前立腺がんの6つの「がん検診」を実施。

問 乳がん検診の取り組みと内容は。

答 30歳以上の女性を対象。41歳の女性に無料クーポン券を送付。

問 セルフチェックシートの配布や健康教育はできないのか。

答 検討したい。

問 ウィッグ(かつら)の助成はできないのか。

答 実施に向け調査したい。



▲がん検診受診券・クーポン

問 学校での「がん教育」の取り組みは。

答 (教育部長) 保健学習や学級活動、道徳を中心に指導している。

弥富中学校では、骨髄を提供したドナーの方を招いて講演を行った。

今後も各校工夫を重ね、「生命尊重」「思いやり」などの観点から「がん教育」を行っていく。

問 食品ロス削減の取り組みは

答 ごみカレンダー等で啓発

問 コロナ禍においてのごみ収集の状況は。

答 (市民生活部長) 直近5年で一番多く、前年比約4・1%増加。

問 家庭または外食産業への意識啓発と食品ロス削減への取り組みは。

答 次年度より「ごみカレンダー」にも食品ロス軽減のヒント等を掲載。飲食店に啓発チラシを掲示してもらうよう配布。



▲食品ロス啓発リーフレット (作成:愛知県)

問 賞味期限間近の備蓄用非常食品の管理は。

答 (総務部長) 1年未満になった食品をイベントや防災訓練等で配布。

問 フードバンクから生活困窮者等への支援はあるのか。

答 (福祉課長) 市社会福祉協議会や、フードバンクの事業に取り組む「セカンドハーベスト名古屋」から食品パックを届けている。

問 備蓄品をフードバンク等へ寄付できないか。

答 (総務部長) すでに有効活用しているので、考えていない。

問 学校給食での食品ロスは。

答 (教育部長) 残食率は平均0・57%で、県平均5・2%に比べればはるかに低い。

栄養教諭による授業を実施したり、食材の解説や生産者の声などを献立表に掲載したりして「感謝する心」を育むような心の教育に取り組んでいる。



▶愛知県食品ロス削減サイト